

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3174792号
(U3174792)

(45) 発行日 平成24年4月5日 (2012.4.5)

(24) 登録日 平成24年3月14日 (2012.3.14)

(51) Int.Cl.

B 6 5 F 1/16 (2006.01)

F I

B 6 5 F 1/16

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号	実願2012-377 (U2012-377)	(73) 実用新案権者	501486947
(22) 出願日	平成24年1月27日 (2012.1.27)		株式会社弘洋電機
			愛知県一宮市今伊勢町馬寄字吉田前42番地
		(74) 代理人	100137327
			弁理士 松井 勝義
		(72) 考案者	橋本 弘
			愛知県一宮市今伊勢町馬寄字吉田前42番地
			株式会社弘洋電機内

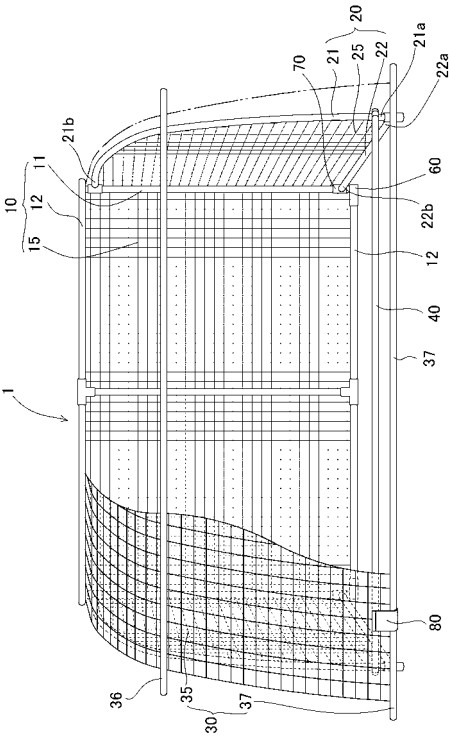
(54) 【考案の名称】 ゴミ袋集積ステーション

(57) 【要約】

【課題】組み立て、折り畳みが容易なゴミ袋集積ステーションを提供する。

【解決手段】ゴミ袋集積ステーション1は、矩形形状の枠体にネット15を張設して形成された背面ネット部材10と、前記背面ネット部材10の左右両側に設けられ、下方に向かって円弧状に湾曲した湾曲棒21と水平棒22とをそれぞれの一端部21a、22aを接続して形成された枠体にネット25を張設して形成された一对の側面ネット部材20と、矩形形状の枠体を構成する上の横棒12にネット35の上端を着設して、ゴミ袋集積空間をネット35で被覆形成する上面ネット部材30と、側面ネット部材20の下部を連結固定する固定部材40とを備え、側面ネット部材20は背面ネット部材10の枠体を構成する左右の縦棒12それぞれに湾曲棒21の他端部21b及び水平棒の他端部22bがヒンジ機構により水平方向に回動自在に連結した。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

ネットを張設してゴミ袋集積空間を形成するゴミ袋集積ステーションであって、
矩形状の背面ネット部材用枠体にネットを張設して形成された背面ネット部材と、
前記背面ネット部材の左右両側に設けられ、下方に向かって円弧状に湾曲した湾曲棒と、
水平棒とをそれぞれの一端部を接続して形成された側面ネット部材用枠体にネットを張設して形成された一对の側面ネット部材と、

前記矩形状の背面ネット部材用枠体を構成する上の横棒にネットの上端を着設して、前記ゴミ袋集積空間を該ネットで被覆形成する上面ネット部材と、

前記湾曲棒の下部を連結固定する固定部材と、を備え、

前記側面ネット部材は、前記背面ネット部材の枠体を構成する左右の縦棒それぞれに前記湾曲棒の他端部及び前記水平棒の他端部がヒンジ機構により水平方向に回動自在に連結されていることを特徴とするゴミ袋集積ステーション。

【請求項 2】

前記固定部材は、前記湾曲棒に対して水平方向に摺動自在の係止金具を両端に備えた固定棒である請求項 1 に記載のゴミ袋集積ステーション。

【請求項 3】

前記固定部材は、前記一对の側面ネット部材それぞれの下部上下 2 箇所にそれぞれ固定棒を接続し、且つ、該固定棒間にネットを張設することにより、正面ネット部材を形成した請求項 1 に記載のゴミ袋集積ステーション。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、ゴミ袋集積ステーションに関する。更に詳しくは、本考案は、扁平状に折り畳み可能なゴミ袋集積ステーションに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、ゴミ袋集積ステーションは、通常、町内の自治会単位等において設置され、所定の収集日に各家庭からゴミの入った袋が運び込まれて集積される。

ここで、例えば、特許文献 1 に示すゴミ袋集積箱が提案されている。このゴミ袋集積箱は、複数枚の網状板によって立方体に形成したゴミ袋収納箱の、前面或いは側面に、開閉自在な扉板を取り付けると共に、上面に雨よけの屋根を、下方に脚を取り付け、ゴミ袋収納箱を地面から一定の高さに保って形成されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】実登 2 5 0 9 8 2 2 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかし、ゴミ袋集積箱は、道路際に設置されることが多く、常設的に設置してしまうと、ゴミ収集日以外等の不使用時にあっては、無用のものとなり、通行の妨げとなるおそれがある。

本考案は、前記課題を解決するものであって、ゴミ収集日など必要時にのみ設置でき、不使用時には扁平状に折畳んで設置空間を狭くすることができると共に、組み立て、折り畳みが容易なゴミ袋集積ステーションを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

本考案は、以下の通りである。

1. ネットを張設してゴミ袋集積空間を形成するゴミ袋集積ステーションであって、

10

20

30

40

50

矩形状の背面ネット部材用枠体にネットを張設して形成された背面ネット部材と、
前記背面ネット部材の左右両側に設けられ、下方に向かって円弧状に湾曲した湾曲棒と、
水平棒とをそれぞれの一端部を接続して形成された側面ネット部材用枠体にネットを張
設して形成された一対の側面ネット部材と、

前記矩形状の背面ネット部材用枠体を構成する上の横棒にネットの上端を着設して、前
記ゴミ袋集積空間を該ネットで被覆形成する上面ネット部材と、

前記湾曲棒の下部を連結固定する固定部材と、を備え、

前記側面ネット部材は、前記背面ネット部材の枠体を構成する左右の縦棒それぞれに前
記湾曲棒の他端部及び前記水平棒の他端部がヒンジ機構により水平方向に回動自在に連結
されていることを特徴とするゴミ袋集積ステーション。

2. 前記固定部材は、前記湾曲棒に対して水平方向に摺動自在の係止金具を両端に備えた
固定棒である1.に記載のゴミ袋集積ステーション。

3. 前記固定部材は、前記一対の側面ネット部材それぞれの下部上下2箇所にそれぞれ固
定棒を接続し、且つ、該固定棒間にネットを張設することにより、正面ネット部材を形成
した1.に記載のゴミ袋集積ステーション。

【考案の効果】

【0006】

本考案のゴミ袋集積ステーションは、背面ネット部材と一対の側面ネット部材と上面ネ
ット部材とを備え、側面部材が、背面ネット部材の枠体を構成する左右の縦棒それぞれに
ヒンジ機構により水平方向に回動自在に連結されており、前記側面ネット部材の下部を連
結固定する固定部材を備えているため、不使用時には扁平状に折畳んで設置空間を狭くす
ることができると共に、組み立て、折り畳みが容易である。

更に、固定部材が、下端棒に対して水平方向に摺動自在の係止金具を両端に備えた固
定棒である場合には、固定棒を取り付けたまま、一対の側面部材を同一方向へ回動させるこ
とによって、折り畳みできるため、一層組み立て、折り畳みが容易である。

また、固定部材が、一対の側面ネット部材それぞれの下部上下2箇所にそれぞれ固定棒
を接続し、且つ、該固定棒間にネットを張設することにより、正面ネット部材を形成して
いる場合には、ゴミ袋集積ステーション全体として更に強度的に安定すると共に、前面の
下端までネットで塞ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本考案の実施例に係るゴミ袋集積ステーションの斜視図である。

【図2】本考案の実施例に係るゴミ袋集積ステーションを折り畳んだ形態を示す正面図で
ある。

【図3】本考案の実施例に係るゴミ袋集積ステーション他の折り畳んだ形態を示す正面図
である。

【図4】本考案の実施例に係るヒンジ構造を示す斜視図である。

【図5】本考案の実施例に係る係止金具の取付構造を示す斜視図である。

【図6】本考案の他の実施例に係るゴミ袋集積ステーションにおいて、固定部材が正面ネ
ット部材を形成している場合を示す斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0008】

以下、本考案の実施形態を示す図1～図6を参照しながら本考案を詳しく説明する。

尚、本考案は、かかる図に記載された具体例に示すものに限られず、目的、用途に応じ
て種々変更したものとすることができる。

[実施例1]

実施例1に係るゴミ袋集積ステーション1は、本考案を具体化している。

ゴミ袋集積ステーション1は、図1に示すように、ネットを張設してゴミ袋集積空間を
形成するゴミ袋集積ステーションであって、矩形状の背面ネット部材用枠体にネット15
を張設して形成された背面ネット部材10と、背面ネット部材10の左右両側に設けられ

10

20

30

40

50

、下方に向かって円弧状に湾曲した湾曲棒 2 1 と水平棒 2 2 とをそれぞれの一端部 2 1 a、2 2 a を接続して形成された側面ネット部材用枠体にネット 2 5 を張設して形成された一対の側面ネット部材 2 0 と、矩形状の背面ネット部材用枠体を構成する上の横棒 1 2 にネット 3 5 の上端を着設して、ゴミ袋集積空間をネット 3 5 で被覆形成する上面ネット部材 3 0 と、側面ネット部材 2 0 の下部を連結固定する固定部材 4 0 と、を備え、側面ネット部材 2 0 は、背面ネット部材 1 0 の枠体を構成する左右の縦棒 1 1 それぞれに湾曲棒 2 1 の他端部 2 1 b 及び水平棒の他端部 2 2 b がヒンジ機構により水平方向に回動自在に連結されている。

【0009】

側面ネット部材 2 0 は、図 4 に示すように、背面ネット部材 1 0 の枠体を構成する縦棒 1 1 に水平棒 2 2 の他端部 2 2 b がジョイント 7 0 の横孔 7 0 b に固着されており、ジョイント 7 0 の縦孔 7 0 a の内面が縦棒 1 1 に対して摺動して回動自在となり、ヒンジ機構を構成している。なお、縦棒 1 1、横棒 1 2 は、その端部がジョイント 6 0 に固着されている。同様に、湾曲棒 2 1 の他端部 2 1 b も縦棒 1 1 に対して摺動して回動自在となり、ヒンジ機構を構成している。

【0010】

図 2 に示すように、ゴミ袋集積ステーション 1 は、前記ヒンジ機構により、側面ネット部材 2 0 を背面ネット部材 1 0 に重ね合わせるように折り畳んで扁平状に収納しておくことができる。

組み立てに際しては、まず、側面ネット部材 2 0 を、矢印に示す方向に、背面ネット部材 1 0 に対して直角に広げる。次に、固定部材としての固定棒 4 0 をその両端に備えた係止金具 4 1 を湾曲棒 2 1 の下部にはめ込むことによって、側面ネット部材 2 0 を固定する。そして、上面ネット部材 3 0 を降ろす。次いで、上面ネット部材 3 0 の下端に備えた下端棒 3 7 を、例えば面ファスナー 8 0 によって上面ネット部材 3 0 の下部に表面から係止することにより組み立てが完了する。

ゴミ袋集積ステーション 1 にゴミ袋を投入するには、下端棒 3 7 を持ち上げ、その下方より投入する。

【0011】

図 1 に示すように、上面ネット部材 3 0 は、中段にネット 3 5 に着設した押さえ棒 3 6 を備えていることが好ましい。こうすることで、上面ネット部材 3 0 をより安定させることができる。

【0012】

係止金具 4 1 は、図 5 (a) に示す係止金具 4 1 のように、固定部 4 1 a と係止環 4 1 b を備えており、湾曲棒 2 1 に係止環 4 1 b 押し込むことによって、図 5 (b) に示すように係止することができる。

こうであれば、湾曲棒 2 1 に対して係止環 4 1 b が水平方向に摺動自在であるため図 3 に示すように、固定棒 4 0 を取り付けたまま、一対の側面ネット部材 2 0 を同一の方向へ折り畳むことが可能となる。この折り畳み状態も扁平状であり、収納スペースが狭く維持することができる。そして、組み立てに際しても、側面ネット部材 2 0 を、矢印に示す方向に広げれば、後は上面ネット部材 3 0 を装着することにより組み立てが完了するため、より簡便に組み立て、折り畳みをすることができる。

【0013】

[実施例 2]

実施例 2 に係るゴミ集積ステーション 2 は、図 6 に示すように、固定部材として、一対の側面ネット部材 2 0 それぞれの下部の固定部 7 5 上下 2 箇所にそれぞれ固定棒 4 2、4 3 を接続し、且つ、固定棒間にネット 4 5 を張設する。こうすることで、固定部材としての役割を果たすと共に、正面ネット部材を形成することができる。すなわち、ゴミ袋集積ステーション全体として更に強度的に安定すると共に、前面の下端までネットで塞ぐことができる。

ゴミ集積ステーション 2 の他の構成については、ゴミ集積ステーション 1 と同様である

10

20

30

40

50

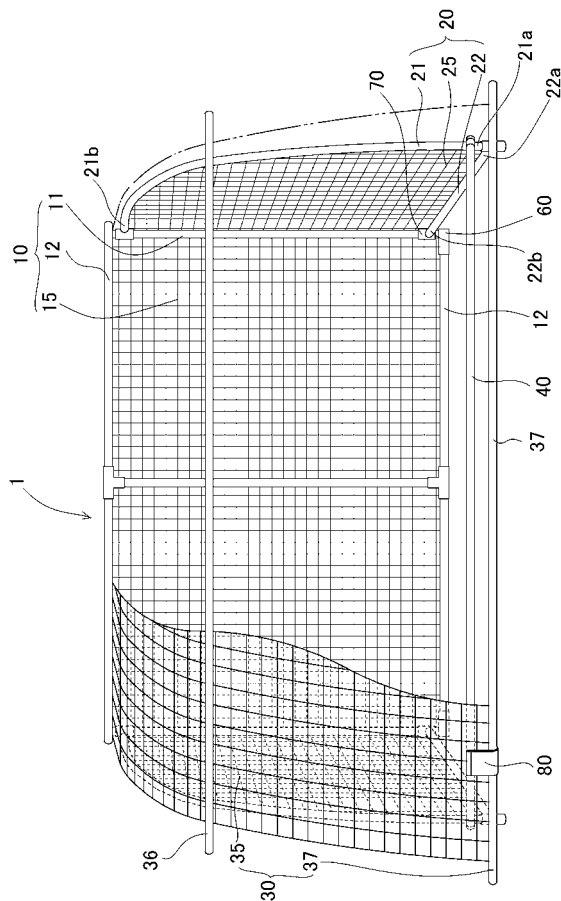
ため、その説明を省略する。

【符号の説明】

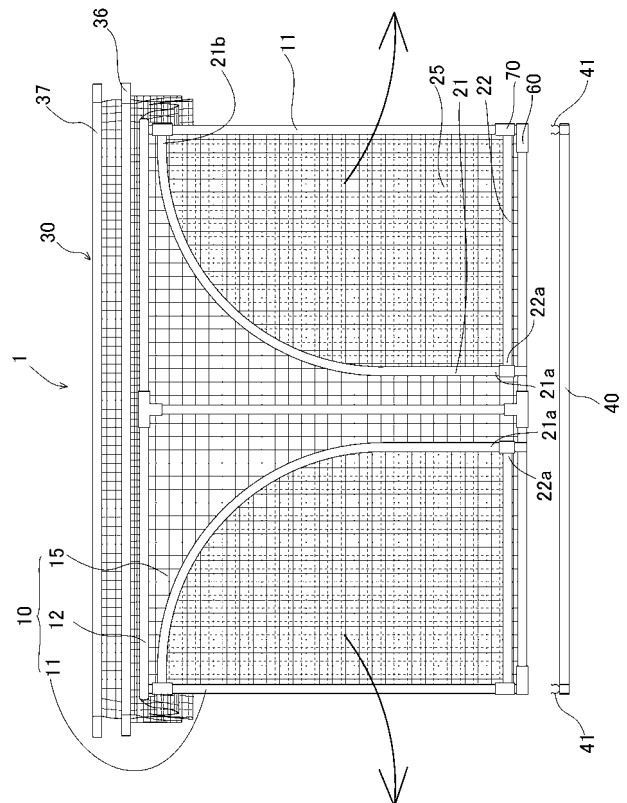
【 0 0 1 4 】

10・・・背面ネット部材、 11・・・縦棒、 12・・・横棒、 20・・・側面ネット部材、 21・・・湾曲棒、 21a・・・湾曲棒の一端部、 21b・・・湾曲棒の他端部、 22・・・水平棒、 22a・・・水平棒の一端部、 22b・・・水平棒の他端部、 30・・・上面ネット部材、 37・・・下端棒、 40・・・固定部材（固定棒）、 41・・・係止金具、 15、25、35、45・・・ネット

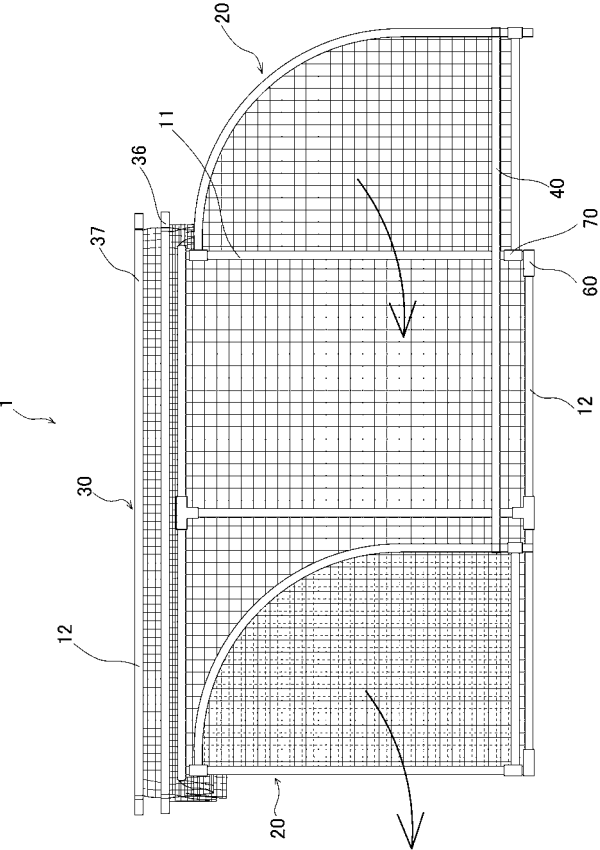
【 図 1 】



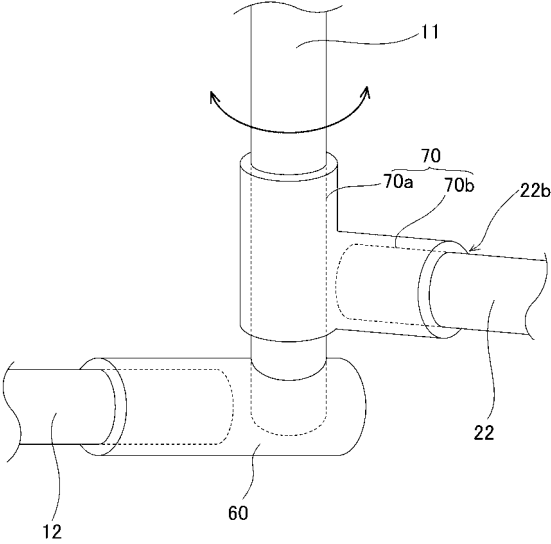
【 図 2 】



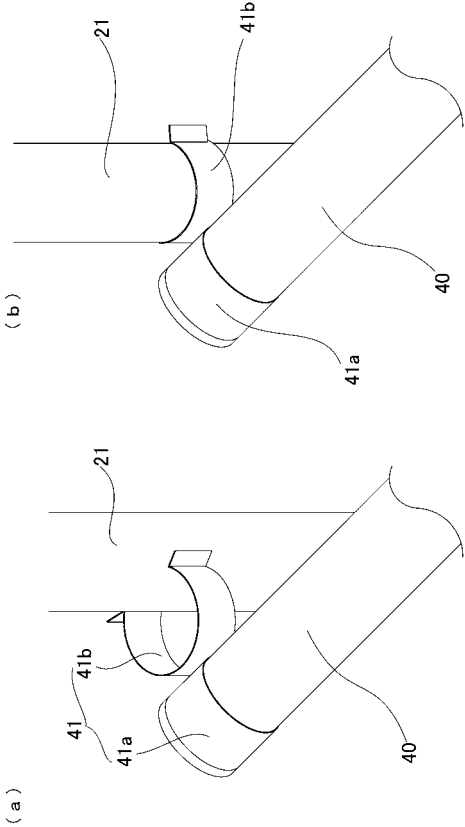
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

